

2013/11/20

岩手日日

大震災時の恩返し

台風30号 比、支援へ緊急募金

陸前高田・桜ライン311



募金箱を手にする岡本代表(右)と小川光一理事(左)19日、陸前高田市・陸前高田大隅つどいの丘商店街「陸丸」

陸前高田市を拠点とするNPO法人桜ライン311(岡本翔馬代表理事)は、台風30号の直撃により大きな被害を受けたフィリピンを支援するため、緊急募金活動を開始した。新たに専用の銀行口座を設け、義援金を受け付けている。東日本大震災において支援を受けた同国へ恩返しする意味も込め、「震災で似たような痛みを味わったからこそ、できることがあるのではないか」と一人ひとりの行動を求めている。

同法人は市内の津波到達点に目印として桜を植え、教訓を後世に伝えるプロジェクトを展開中。多くの支援を受け、被災地で活動する団体として、助け合いの輪を広げることとも一つの責務と捉え、緊急募金活動に乗り出した。18日からホームページ(HP)や交流サイト(SNS)などを通じて、協力を呼び掛けている。

岡本代表は「報じられるフィリピンの被災地の映像は、震災直後の陸前高田市の景色に似ている。心を痛め、何かしたいと思っている人も少なくないだろう。復旧・復興を目指す最中で自らも大変だろうが、できる範囲で、小さな

ことでも行動を」と話していた。募金を開始して早々に、同法人が事務局を置く陸前高田大隅つどいの丘商店街の飲食店「陸丸」が募金箱の設置に名乗りを上げるなど、市民の間に積極的な動きが見られる。

集まった義援金は年内にも一度取りまとめ、フィリピン赤十字社へ送金する。申し込みと問い合わせは同法人事務局0192(47)3399まで。振込先口座番号はHPの「お知らせ」からも確認できる。アドレスは次の通り。

<http://www.sakura-line311.org/>

地元木材 利活用を

大船渡でセミナー

木造住宅建築等に関する地域材利用促進セミナー(大船渡農林振興センターなど主催)は18日、大船渡市盛町の



シール大船渡で開かれた。製材業や建設業の関係者ら約40人が参加。一般社団法人木と住まい研究協会事務局の小池透さんとNPO法人team Timberize副理事長の小杉栄次郎さんの講演を聴き、政策動向や地域型住宅ブランド化事業などについて知識を深めた。先進事例などから学び、地

児童生徒の 力作並ぶ

大船渡 総合美術展

第59回大船渡市民芸術「総合美術展」後期(市教市芸術文化協会主催)は11月17日まで3日間、同市盛町市民文化会館リラスホールで開かれた。市内の児童生徒の力作が並ぶ。

高齢者活躍の場探る

大船渡で 知識、経験まちづくりに

お年寄りの社会参加を促進しようと、けせん・シニアわくわくサロン(NPO法人)が、一人で悩まずサロンのような場に社会参加できるのうにみんなで気軽に話し合おうという試み。55歳以上を対象としている。



始まった「けせん・シニア」=13日、大船渡市

教授がワークショップを行った。次回は30日午後1時から同ホールで開催。事務局で参加申し込みを受け付けている。申し込みと問い合わせはNPO法人夢ネット大船渡0192(47)32711まで。

リア代表取締役社長の松本すみ子さんが「わがよきセカンドライフと地域デビュー」を経験と知識を生かして再び輝く」と題して講演する。入場無料。事務局で参加申し込みを受け付けている。

松本さんは1950年、仙台市生まれ。早稲田大卒。2000年に同社を設立。団塊